

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

1月12日(火)

歴史的快挙!シジュウカラガンが長浜で越冬

12羽のシジュウカラガンが越冬のために湖北に飛来し、研究者の間では歴史的な快挙だと喜びの声が上がりました。

一時は絶滅したともいわれ、近年は国際的な保護活動で個体数がようやく増加。しかし、東北地方以北にしか渡来せず、かつて日本で数多く越冬した姿の復活が課題となっていました。

今回の渡来は大寒波の影響といわれ、「越冬地として気に入ってくれば、来年以降も来てくれるかも」と期待されています。



1月23日(土)

いい汗流して、心も体も健康に!

長浜伊香ツインアリーナで、エンジョイスポーツバイキングが開催されました。年少から小学3年生までを対象とした「ミズノ流忍者学校」では、子どもたちが忍者になりきって、楽しみながら運動発育に必要な基本動作を学んでいました。

また、様々なスポーツ体験プログラムが同時に開催され、参加者らは、心身のリフレッシュができたようで、爽やかな笑顔をしていました。

1月29日(金)

夢を持つことの大切さを伝えたい

富永小学校で、小中学生を対象に夢や仲間の大切さを伝える「夢の教室」がオンラインで開催されました。

この日は、シルク・ドゥ・ソレイユ登録ダンサーのma-yaさんが「夢先生」を務め、自身が大切にしていることや夢を叶えるまでの道のり、これからの夢について語りました。

夢先生から将来の夢を尋ねられ、思い思いの夢を発表する児童たちの目は希望に満ち溢れていました。



1月30日(土)

集落の暮らし伝える写真集が完成

長浜の暮らしと人々の魅力を写真で発信する市民団体「長浜ローカルフォト」が、写真集「金居原フォトブック」を発行し、金居原自治会に贈呈しました。

集落の伝統行事や祭礼、豊かな自然や土倉鉱山跡、そしてそれらを守る住民の姿が収められており、贈呈を受けた小川五郎自治会長は、「記録として残る写真集。自治会のほぼ全員が収まった写真が特に嬉しい」と喜びを語りました。



長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

1月31日(日)

今年デビューの盆梅に命名

今年初めて展示された盆梅の命名式が行われ、奈良県吉野町の吉水神社の佐藤素心宮司が「喜神乃馨」と名付けました。

命名されたのは樹齢100年とされる八重咲の薄紅色の「豊後性桜鏡」。平成28年に市内の個人から寄贈を受け、長浜観光協会が管理してきました。

佐藤さんは、「神様を喜ばせる梅だと感じた」と命名の理由を語りました。



2月8日(月)~14日(日)

長浜の魅力ある商品が大集合

市内の特産品を一堂に集めて販売する「NAGAHAMA 食・くらしマルシェ」が開催されました。長浜の魅力ある商品の情報発信、展示・販売を行うことで、知名度の向上、販売機会・販路の拡大を図ろうと長浜商工会議所と長浜商工会が主催したもので、市内30事業者の75の商品が並びました。

訪れた人は各商品の魅力あふれるストーリーに触れながら買い物を楽しみました。

たくさんのご応募ありがとうございました 広報ながはまの表紙写真が決定!

写真を通じた長浜の魅力発信と市民の皆さんとともに作る広報紙をめざして、昨年10月から1月にかけて市公式Instagramで「広報ながはま表紙争奪Instagramフォトコンテスト」を開催しました。

応募作品276点の中から選ばれた作品が今月の広報ながはまの表紙を飾りました。

■撮影者 田中 雄哉 さん(彦根市)

アカウント: ef2818yuuya

■撮影者のコメント

新旧残る黒壁通り表参道にある長浜別院大通寺。静寂の中しんと積もっていく雪夜は400年余の歴史が創る重みを映し出しているかのようでした。

この度は素敵な企画をありがとうございました。

■選定理由

長浜を象徴するレトロな町並みと雪景色が印象的で、見る人を惹きつける魅力があります。轍から人々の営みや暮らしが感じられる、あたたかみのある作品です。



▲雪降る表参道